

調布警察署・宮の上駐在所 岡本巡査長からのお知らせ

去年は、宮の上駐在所が管轄する地域においても振り込め詐欺の被害が発生しています。

その手口は、警察官を騙り、携帯電話に警察手帳や逮捕状の画像を送りつけて信じ込ませるものもありました。警察がそのような画像を送ることは絶対ありません!!

また、市役所職員や銀行員と言い、自宅に現金はいくらあるか、口座の預金額はいくらかと聞いてくることもありましたが。市役所職員や銀行員が預金残高等を電話で聞くことは決してありません!!

もし、似たようなことがありましたら必ず110番をお願いします。

駐在所のパトカーで同乗パトロール

宮の上駐在所の岡本巡査長が運転するパトカーに、当会の運営委員またはボランティアのメンバーが1名同乗し、地域をパトロールしています。以前は地域の自治会メンバーとともに実施していましたが、コロナウイルスの影響による中断を経て、現在は当会が同乗しています。

月に1~2回の頻度で駐在所の管轄エリアをゆっくりと巡回し、子どもたちの下校の様子や地域に異常がないかを確認しています。



安心・安全パトロール協力者募集中

「上ノ原まちづくりの会」のパトロール活動を地域の皆さんといっしょにしませんか。ご連絡お待ちしております。

連絡先 長原碩之（携帯 090-6547-9237）



当会今後の行事予定

状況により中止・延期・変更場合があります。

3月2日（日） 調布まち活フェスタ（当会は展示紹介等）市民プラザアクロスにて

3月9日（日） 北の杜防災フェス（北部公民館との共催事業）北部公民館にて

4月下旬 当会定期総会

編集後記

「上ノ原まちづくりの会」の広報誌は、今号で第40号となりました。

創刊号は、2004（平成16）年7月（会長は有山守三氏）、1面で設立の総会の写真と会長から「発足に際して」と題しての挨拶が掲載されています。

地区協議会としての「上ノ原まちづくりの会」は、市内では5番目の設立でした。

10年後の2014（平成26）年、第21号（会長は山田重幸氏）、1面に「ふれあいの家」の開設準備が始まりました、という記事が掲載されました。上ノ原ふれあいの家は、地域のサークル活動や会議などに利用されています。

これからも、広報誌は「上ノ原まちづくりの会」の活動や地域の諸団体と連携した活動を地域の皆様に伝える役割を担ってまいります。

（広報部）



上ノ原まちづくりの会 （地区協議会）

令和7年（2025年）2月 第40号

連絡先 調布市協働推進課
042-481-7036

去年の環境美化部活動を振り返って

年に2回、5月と11月末に地域の公園へ花を植えています。特に、けやき児童遊園では植栽エリアが広がり、バス利用者からも見えるよう配慮しています。稲荷神社向かいの柴崎2丁目提供公園や宮の前児童遊園にも植えています。宮の前児童遊園では、近くの保育園児が遊びながら水やりをし、小学生も時間があれば手伝ってくれます。長年続けてきたことで、地域に根付いた活動となりました。

また、北部公民館の文化祭では、公民館門前やエントランス花壇に花を植える役目を担い、今年は10月22日に実施しました。11月には、上ノ原小学校の栽培委員会の5・6年生と一緒に、小学校正門のプランターや柴崎公園運動広場入り口両サイドにノースポールとチューリップの球根を植えました。子どもたちは熱心に植え、水やり当番も担当。今はノースポールが白い可憐な花を咲かせ、チューリップは春の開花を待っています。

昨年9月28日には「上ノ原地域美化大作戦」を実施し、117人が参加。曇り空から次第に晴れ、心地よい天候の中で行われました。柴崎公園ではソフトボール練習前の子どもたちがごみ拾いを手伝ってくれ、年々ゴミは減少傾向に。ただ、タバコのポイ捨ては依然として多く残念です。「楽しく清掃できた」との声もあり、令和7年度の20回目は記念イベントにしたいと考えています。地域の皆様や花植えボランティアの皆様と共に、これからも活動を続けていきます。

（環境美化部）



花植えの一部と協力頂いたボランティアの皆様



美化大作戦
指定集合場所にて



上小箱崎校長も参加頂きました

防災講演会が開催されました

令和6年度の防災訓練は、情報に重点を置いた「防災講演会」として、11月17日に上ノ原ふれあいの家で開かれました。講演は1回60分のセッションが2回行われ、計70人が聴講しました。

講師は、宮城県石巻市の防災士・武井友佑氏（調布市石原小地区出身）。「災害前の備えと避難所」をテーマに、東日本大震災の被災者たちから聞いた体験談をもとに避難所のさまざまな注意点等が紹介されました。

避難所の多くは学校であり、校内には理科室、美術室、家庭科室などがあり、それぞれに役立つ工具や道具が備わっています。一方で、理科室には薬品などの危険物もあり、鍵をかけておくべき部屋があることに注意が必要です。

また、避難時に役立つものとしてキャンプ用品が挙げられました。飲食や生活のさまざまな場面で活用できるほか、持参すると便利なものとして氷砂糖が紹介されました。氷砂糖は夏でも溶けにくく、糖分補給に大変役立つそうです。メモを取る参加者も見られました。

さらに、学校に多数の遺体が並ぶことによる子どもたちの心への影響や、避難所ごとに異なるペットの受け入れ状況など、多様な事例も紹介されました。

（防犯・防災・交通安全部）

登校時の安全見守り活動

当会では、学校がある日の毎朝、通学路の交差点において、メンバーが曜日ごとに交代で児童・生徒の登校を見守り、安全を確保しています。

見守りの場所は、次の4か所です。

- ① 上ノ原小学校校庭の東南角にある変則T字路
- ② その坂を南に下った先にある、上ノ原公園の東南角
- ③ 上ノ原小学校の北側に位置する、路線バスが走る植物公園通りと原山通りの信号交差点（上ノ原小入口）

- ④ ③の交差点から20メートル南の、信号のない交差点
- これらの交差点では、上ノ原小学校、神代中学校、晃華学園の3校に通う小学生・中学生・高校生が登校します。いずれの場所も3校の生徒が集中し、特に朝8時前後の30分間は細心の注意が必要です。

（防犯・防災・交通安全部）



講師は
武井友佑氏



別室での防災関係の展示



交差点での
旗振り



北部地域文化祭に参加しました

令和6年度も北部公民館で北部地域文化祭（10月26日～11月3日）が開催されました。上ノ原まちづくりの会も、展示「まちづくりの会の活動紹介」を期間を通して実施しました。

11月2日（土）には、サシェ（地元産ラベンダーを用いた匂い袋）の作成体験を行いました。去年は、新型コロナウイルス感染拡大前と同様に、屋外のテントで対面式の体験を実施し、最初から完成まで楽しんでいただくことができました。しかし、今年は雨天のため、展示会場の室内での開催となりましたが、38名の方にご参加いただき楽しんでいただきました。

また、子ども向けのイベント「北の杜わくわくまつり」を、上ノ原まちづくりの会・健全育成推進上ノ原地区委員会・子ども会連絡会・深大寺通り商店会・北部公民館の共催で、10月27日（日）に開催しました。スタンプラリー形式で実施し、まちづくりの会は「ディスゲッターナイン」を担当しました。

その他の団体は、射的・お化け屋敷（ハロウィンのおぼけの家）・カードゲーム大会（十王坂の審理）・ポニーふれあい広場（乗馬体験）・ドキドキ子どもお茶席をそれぞれ担当し、合計680名が参加しました。衆議院議員選挙の投票日と重なった影響もあり、大勢の来場者でにぎわいました。

（ふれあい交流部）

「ボランティア交流会」の開催

昨年、4年ぶりに開催されたボランティア交流会に続き、今年も開催いたしました。2月2日（日）午後1時から、上ノ原ふれあいの家 第一集会室にて、日ごろ活躍されているボランティアの皆様、地域の関係団体の代表の方々、上ノ原まちづくりの会運営委員など、合計34名が集いました。

参加者は情報交換や歓談を行い、運営委員有志によるフラダンスや生演奏（ピアノ・フルート・マンドリン）に合わせて歌い踊るなど、楽しいひとときを過ごしながら交流を深めました。

（ふれあい交流部）



サシェの作成、うまくできたかな



ディスゲッターナイン



受付、スタンプ押印、景品交換も忙しく



生演奏のもとみんなで歌いました



有志によるハワイアンダンスも披露